

第4回

# 百万遍談議

## 「なにげないひとことがノーベル賞に」

かつて百万遍周辺の喫茶店では、「読書会」と称して、違う分野の学生が集まってひとつのテーマで議論をする姿がしばしば見られました。コーヒー1杯で数時間いても店の人は気にもせず、ひたすらコップにお水をついでくれたものです。

あるいは「下宿」に集まってなされた議論は、同じ下宿の他学部の人だけでなく、他大学の学生も加わって、それこそ朝まで延々と続けられたというのが茶飯事でした。

最近ではコロナの影響もあり、学生同士の議論というものが影をひそめているように思います。加えてそもそも喫茶店自体がどんどん少なくなっていっています。

そこで、今春始動した京都大学人と社会の未来研究院では、往時に盛んであったそんな議論の場を、「百万遍談議」として復活させようと思い、このような企画を立ててみました。京都大学の学部学生であれば、学部や学年は問いません。

授業ではありませんので、なにかこうしなければいけないという義務はなく、単に興味があるから参加して、人の話をきき、自分の考えを述べる。それだけです。

毎回のテーマに関して、あらかじめ知識が必要となるわけではありません。唯一お願いするのは、毎回提示される「書物」あるいは「短文」を読んできること、それだけです。

「人はこんなことを考えているんだ」ということを知るだけでも楽しいですし、さらには、自分の考えを人にきいてもらうことの楽しさも、大学生に与えられたある種の特権です。気軽な気持ちで参加してくださいませよう。

タイトルの「なにげないひとことがノーベル賞に」というのは、この場での出会いが、文系理系問わずノーベル賞級の研究や業績を生むことを秘かに期待してのことです。

数十年後の世界を夢想しながら、いろいろな人と人、人と言葉あるいは考えの出会いが生まれることを楽しみにしています。

話題提供者 沼田 英治 (人と社会の未来研究院 特定教授)

テーマ 「一人の侍」

主催：京都大学 人と社会の未来研究院

場所：附属図書館3階共同研究室5

対象：京都大学学部学生（正規生）先着8名

使用言語：日本語

費用：無料

申し込み方法：下記フォームよりお申し込みください

【お問い合わせ】

人と社会の未来研究院

「百万遍談議」担当

ifoht\_team@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



京都大学



2023.3.11 [SAT.] 10:30—12:00

2023年3月11日

百万遍談議 開催報告

## 第4回 「一人の侍」

話題提供者

沼田英治

(人と社会の未来研究院特定教授／京都大学名誉教授)

参加者：2名

[内訳]

1回生1名（農学）

3回生1名（工学）

### 談議メモ

今回は、農民と侍の関係、男系の家系と遺伝的な系統の話をテーマに書かれた使用テキストをもとに、少人数で濃密かつ広範な議論が交わされました。

参加者のなかに居合道をする人もいたことから、話は江戸時代以降の武士にとっての刀の意味に始まり、血筋や男系の意味、親子・きょうだい関係の文化的差異、人口減とその対策のあるべき姿に至るまで、じつに幅広い話題が提起されました。最後には、「人は生まれてきたからには何かを学び、発信して死ぬべきか」という、人生論にまで及ぶ深いテーマが飛び出し、終始盛り上がりを見せた回となりました。